



THEY'S MEN'S CLUB OF FUJI-GOKO

創 立 2003年3月12日 3041-1, UCHINO, OSHINO-MURA,

MINAMITSURU-GUN, YAMANASHI-KEN,

チャーターナイト 2003年5月10日 PHONE 0555-84-4233

2021年 富士五湖クラブ 9月ブリティン 第203号

会長 後藤昭子
副会長 原 俊彦
副会長 望月 勉
書記 後藤明久
会計 望月喜代子
会計 武藤五子
直前会長 望月喜代子

国際会長：キムサンチュ(韓国)
「世界と共にワイズメン」
アジア太平洋地域会長：大野 勉(神戸ポート)
「100年を超えて変革しよう」
東日本区理事：大久保知宏
「私たちは次世代のために何ができるか？」
あずさ部長：長谷川あや子
「道を拓く～愛と協力によって」

富士五湖クラブ会長：原 俊彦
『何があっても元気で楽しく！！』

9月第1例会

2021年9月10日(金)PM19時30分

Zoomにて開催

開会点鐘 原 俊彦会長

議事

ニコニコスピーチ

閉会点鐘 原 俊彦会長



忍野からの赤富士と雲と

8月第1例会報告

2021年8月27日 19時30分～

参加者：原 2、望月 2、後藤 2、三浦、武藤

山梨県も新型コロナ感染拡大のため8月20日より「まん延防止等重点措置」のため、ふれあいセンターが閉館しているのでリアル&オンラインのハイブリッドの予定でしたがオンラインのZOOM例会開催となりました。



時間になり原会長のあいさつで始まり、本日の最大の議事は富士山例会の開催について話し合いました。

首都圏は「緊急事態宣言」発令中。山梨県も感染者が増えて20日より「まん延防止等重点措置」が発令されました。オリンピックが終わってパラリンピックが開催されている中、Y'Sドットコムに富士山例会の案内をいつ出そうかと悩んでいる中、新型コロナの感染は益々増加を続けました。

メンバー各自の意見を聞いてまとめた結果、富士山例会は今年も自粛するほうがいいとなりました。

残念ですがしかたありません・・・。
次に11月に予定の伊東DBC移動例会については、もうしばらく様子を見ることになりました。何も楽しみがないのではつまらない。「できる」方向で進めていこうとなりました。

その他；東日本区のロースターについて先日、東日本区より送付されたものが原会長よりメンバーにも送付されましたが、事務局用として1部は東日本区に印刷をお願いします。また西日本区ロースターについては東日本区事務局に1部依頼しているが何の返答もないため合わせて原会長のほうから確認してもらおう。

次回、9月10日の第1例会、24日の第2例会もZOOMで開催予定。

何もなくともメンバー同士で画面をとおして顔を見せて交流することも大事ですね！！



今月のハッピーバースデー

今月のハッピーバースデー

7日 須藤道子さん

27日 原 淑子さん

おめでとうございます！

8月のデータ

会員数	11名
例会出席	8名
コメント	1名
	73%

コロナ禍2021富士山

望月勉

経験したことないコロナ非常事態の中で、2021年の富士山夏山シーズンが、7月1日山開きで始まりました。すでに1ヶ月前、6月1日からコロナ対策の補助事業として、7合目トモエ館に全館個室、換気扇、館内放送、コンセント等の工事で入山していました。5合目登山道入り口に嚴重なバリケードがあるため、1名の登山者もありません。横の沢にはまだ多くの残雪がありましたが、20日を過ぎると残雪も無くなり、木々の緑が美しくなっていくのを毎日見る事が出来ました。6月28日からは8合目トモエ館に登り、やはりコロナ対策の工事に入りました。7月1日からは登山者もちらほらと登ってきました。小屋は個室にするため、2019年の収容人数の40%以下としました。夕食の食事も1回で40人出していたのを15人程度、パーティションで仕切り、従業員はマスク、フェースシールド、消毒、体調管理を徹底しました。しかし登山者は激減し、7月1ヶ月は例年の30%程度。8月に入り、少しは増えると期待しましたが、第1週台風、第2週集中豪雨、お盆も秋雨前線、スバルラインも何度も止まりました。そして8月26日、5日前から7合トモエ館工事と火祭りのため留守にしていた私に、8合目トモエ館で従業員1名が体調を崩し、PCR検査の結果陽性と判定の連絡が入りました。彼は6月28日入山以来1度も下山した事のない人でした。すぐに保健所から検査キットが届き全員の検査。幸いにも全員が陰性でした。しかし、オーナーの判断でその日から営業を中止する事が決定しました。その日からの宿泊者すべてに、メールと電話で連絡を取る作業に3人がかかりきりとなり、並行して小屋閉めの作業が始まりました。8月27日には、濃厚接触者に認定された3人の男性従業員も下山。小屋には女性3名と男性1名だけとなりました。私とワクチン接種で下山していた息子、

ガイド1名の3名が30日に小屋に戻り、そして小屋閉め作業を再開。なんともひどいシーズンとなりました。コロナ陽性者は発表では2軒目の山小屋となりましたが、今思ってもあれ以上何の対策が取れたか、思い浮かぶことは1つもありません。山小屋の支配人として42年間。まさかの連続のシーズンでした。そしてコロナは誰もが陽性者になることを痛感したシーズンでした。こんなシーズンで、今までの山小屋生活に別れを告げることが寂しく、残念です。

《山梨YMCAだより》

「コロナ禍の夏の終わりに」

山梨YMCA総主事
露木淳司

子どもたちの夏休みが終わろうとしている中で、デルタ株が猛威を振るう日本では全国的に緊急事態宣言やまん延防止の措置をとるエリアが広がっています。山梨YMCAでは、利用の自粛を呼び掛けたり、習い事の一部休止など対策をとっています。一方で、小学校が分散登校など様々な対応をとる中で、このままいくと9月に入っても朝から学童保育の子どもたちを受け入れるようになるのでは、という可能性もあり、予断を許さない状況が続きます。

大学生はオンラインの授業が当たり前になってきています。特に去年の春入学した学生たちにとっては、学園生活など無縁に近い状況ではないかと推察されます。こんな状況で友達を作れるのかと、気の毒に思います。コロナは終わらないと腹をくくって、そんな若者たちにYMCAとしてできることはないか、真剣に考える必要を感じています。

今年の夏はコロナ禍に加えて、天候も不順で、大雨と猛暑の繰り返しでした。いつになったら平穏な日々に戻れるのか憂鬱になりますが、こんな毎日が続く中で、信念を持って進むべき道を見出

し、前に向かって歩みを進めることができるか、
今こそ真価が問われているのだと思います。もう
一度、YMCA、ワイズメンズクラブ共々、こんな時

代に私たちが果たすべき役割は何なのか、考えて
みようではありませんか。

「あれや これや」

原 淑子

コロナ禍で時間が出来、ちょっとだけ片付けをしました。手紙類を処分しましたが、その後は余り
進まず……。学生時代に気に入った詩や文を書き記して置いたノートが出て来た為
でした。ずーっと読みながら、どんな状況でその言葉を見つけて書いたのか思い出すのも有りました
が、丸っ切り思い出せないのも有りました。考えてみればその頃は50数年以上前
になるので、その事に驚きです。長い年月が経っていても自分の中では、それほど変わっていない
らしく（成長してないのかなあ）納得しながら目を通しました。

安積得也

*電燈

おやもう三時
仕事はいっぱい
あわてる事はない
小さいこと一つ
この葉書一枚を
ゆっくり力をこめて
書き終えよう
それからまた小さいことを
もう一つ
そして日がくれたら
電燈をともそう

*水滴

ポタリポタリ
水の音がしている
人が聴いていてもいないでも
ポタリポタリ
水の音がしている

これからの予定

9月10日(金) 9月第1例会 ZOOM
9月24日(金) 9月第2例会 ZOOM
10月8日(金) 10月第1例会
10月16日(土) あずさ部部大会
10月22日(金) 10月第2例会

